

変化の速度と幅が大きく先の見えないこれからの社会では、自分たちで考えて、自分たちの進むべき道を見つけ出していくことが大切です。

この未来に向けた学びと育ちの基本構想では、子供たち自らが育んでいってほしい力を「すべての“いのち”がよろこびあふれる未来をつくっていく力」としました。

この力を育んでいく環境を、学校、家庭、地域、そして子供たちみんなで作っていきます。

そのためのビジョンを定めました。

自らの羅針盤を

自らが育んでいく

みんなが育って 自分も育って



次の言葉は、未来に向かって子供たち自らがどんな力を育んでほしいかに対する学校教育基本構想検討委員の思いです。

この思いをもとに第3次日野市学校教育基本構想は策定されています。



自分を大切にする 独りを越えた十本質的に素直な…羅針盤力 “いのち”を大切にする力 人でできないことをみんなで協働してやり遂げようとする力 自分で羅針盤を見つけ、自らの選択で更新し新たな羅針盤に向き合う力 人のため、ふるさと日野のために、何かできることはないかと考え、行動する力 自分で考える力 相手を想像する力 人に愛され、人を愛する力 学び続ける力 多様性を認め合う力 共にルールを作りあう力 他者とかかわりあう力 有用感を高められる力 人を応援できる力 友だち、仲間、家族を持つ（作る）力 良いものは「良い」ダメなものは「ダメ」と言える力 感性、好奇心、挑戦する力 人に力を貸す力、人に力を借りる力 ゆるす力 人とつながり、人を信じる力 心動かしながら感じ、見つけだそうとする力 生き抜く力 希望を見つける力 幸せに生きる力 思いやりを持って対話できる力 人に流されず自分の意見が言える力 目的意識を持って粘り強くやり抜く力 公共心を持って社会課題に向き合う力 自分の自由・他者の自由を理解・承認できる力 多様な考えを理解し認める力 日野を愛し、自らの進路を開拓し、日本、世界に羽ばたいていく力 多様性を受け止め、物事の背景を捉え、柔軟な発想・対応で困難を乗り越えようとする力 生きる力 学ぶ力 多様な人々と向き合い対話する力 地元感 そうぞう力 相手の気持ちを推し量る力 死とは何かを考えられる力 将来の夢を見つづける力 困難を前向きに捉える力 自分を客観的に見る力 前向きに生きる力 目に見えないもの、ことを見抜く力、見通す力 多様に気づき認める力 多様に考え行動する力 吸収力 探究心 切り替える力 本当のボランティア精神 豊かな感性 伝える力と聴く力（コミュニケーション力） 人を大切にする心 やりぬく力 体を育てる力

私を私が安心して 認めることができる

人を認める 人を受け入れる

その人の良さを認める 見つける

そして 自分の世界がひろがる

自分として生きていく

よろこびあふれる未来を
いく力

ひとりひとりの“いのち” ひととは多様です

みんなが認め合い

それぞれの良さを最大限に発揮し合います

大人は 子供を受け止め信頼し

まかせ支えます

子供たちは 信頼され まかせ支えられ

私らしく生きます

そして今を生き 未来をつくっていきます

あなたのわくわくを大切にします

あなたのわくわくを書いて、みんなと共有しましょう！

いつでも どこでも 学びと育ち

地域とのかかわり、家庭の会話、友達との遊びなど今を生きるそのすべてが、学びと育ちの場です。特に子供たちは大人の言葉や行動から多くを学び、育ちます。

地域、家庭、学校、そして子供たち、それぞれが互いを思いやり、学び合い育ち合うのが日野市です。

ひとり ひとり への まなざしと支援

人は 個性や特性、強みと弱み、いろいろなものをもっています。そして、元気な時もあれば辛さを抱える時もあります。

どんな時も、安心して自分を出して伸びていけるよう応援します。

みんながつながって、たくさんの学びと育ちの支援のメニューを用意してしっかりと応援していきます。

ほっとも、エール、カウンセラー、ソーシャルワーカー、児童館、学童クラブ、ひのっち、子ども家庭支援センター、セーフティネット、そして学校。

みんなつながって、みんなのあたたかなまなざしと、ありのままでもいいんだよ、すごいね、ありがとうに包まれて。

遊び

子供は、見て触れて感じて試して、失敗してもまた考えながら遊ぶ。わくわくどきどきの体験があふれ出す。やりたいことに集中し、粘り強く一生懸命になる。水や土、緑に手を伸ばすといのちが吹き込まれて仲間になる。こころもからだもたくさん動かしながら遊ぶ。大切な友達と一緒に。

生活

子供は生活の中で優しさに包まれていると、ありのままの自分でいられる。自分を受けとめてもらい幸せ感を膨らませる。ありがとうと言われると、こころが笑顔になる。よくやったと認められると、やる気が出て自分で進もうとする。光あふれる明日へ。

みんなて 対話をしながらつくりあげていく 学び合い育ち合い **ひの** わくわくムーブメント

★みんなで作っていきます

★みんなができることから始めます

★みんなで責任をもちます

★みんなでゆっくり進みます

一律一斉の学びから 自分に合った 多様な学びと学び方へ

- ・ひとりひとり学びへの興味も理解のしかたも違います。自分に合った学び方で学んでいきます
- ・自ら設定した目標に向かって、自らの力を最大限に引き出していきます
- ・分からないことを「分からない」と言える雰囲気、「教えて」と言える関係、教え合える風土を大切にしていきます

自分たちで考え 語り合いながら生み出す 学び合いと活動へ

- ・疑問やおどろきから生まれる問いを大切に、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどりつく過程を大切にします
- ・多様な人が支え合い、知恵を出し合って、新しい良きものを生み出していきます
- ・大切なことはみんなで話し合い、ルールを決めて自分たちで責任をもって行動します
- ・地域の人と出会いながら、感じ、考え、地域と結びつきながら活動を展開します

わくわくが広がっていく環境のデザインへ

- ・地域の人や企業、大学が、わくわくどきどきの学びを提供してくれます
- ・保護者が参加してくれたり、手伝ってくれたりします。時には企画・運営してくれます
- ・先生や大人は学びの促進者です。問いを深めてくれたり広げてくれたり、いろいろな考え方に合わせてくれます
- ・楽しく学べる ICT 環境やひとりひとりへの支援体制が学びと育ちを応援してくれます

つながりと愛

“いのち”は、生まれてからたくさんの人が協力しながら育っていきます。人と人との関わりが広がる中で生きていきます。地域の人だけでなく、色々な人との交流を大切に、いつでも助け合える関係を私達は目指しています。私達はお互いの弱さを知るからこそ、手と手をつなぐように支え合っているのだと考えました。自分の命も大切にしながらつながりを広めていき、たくさんの人の命について、考えてほしいと思います。(中学校生徒会サミット宣言より)

“いのち”のプロジェクト

子供たちを真ん中に、子供たちの感性を大人が受け止め、子供発の取組を支えます。そして、その想いや取組を学校、家庭、地域に広げ、子供も大人も一緒に“いのち”の取組を進めていきます。

地域 ふるさと 地活

子供たちが地域に出ると ありがとう をいろんな人からもらえる。

子供の力ってすごいね と認められる体験に子供たちは伸びていく。**地域**のために役に立ちたいと**活動**が始まる。

子供たちが地域にでると、**地域**に**活力**が出てくる。子供たちの発信の力に地域が動く。大人をプラス思考に、未来思考で突き動かす。

地域では子供たちは素直になれる。家や学校で言えないこともすっと言える。地域の人は、すべての子供をあたたく受け止めてくれる。

子供たちは**地域**でさまざまなことを感じ、学び合い、**活動**へと結びつけていく。

子供たちは、地域で自分を感じ、自分を育て、自分の生き方をつかみ取っていく。

それぞれが歩む世界へ

子供たちは、ふるさと **ひの** での活動を土台として、その先の世界へ飛び出していきます。そのために、学校、保護者、地域は、子供たちの学びと育ちを支えます。

そして、すべての“いのち”がよろこびあふれる未来の地球社会を創っていきます。